

バージョンアップガイド

[2011 R1の新機能]

GLOBE 2011 R1 の新機能

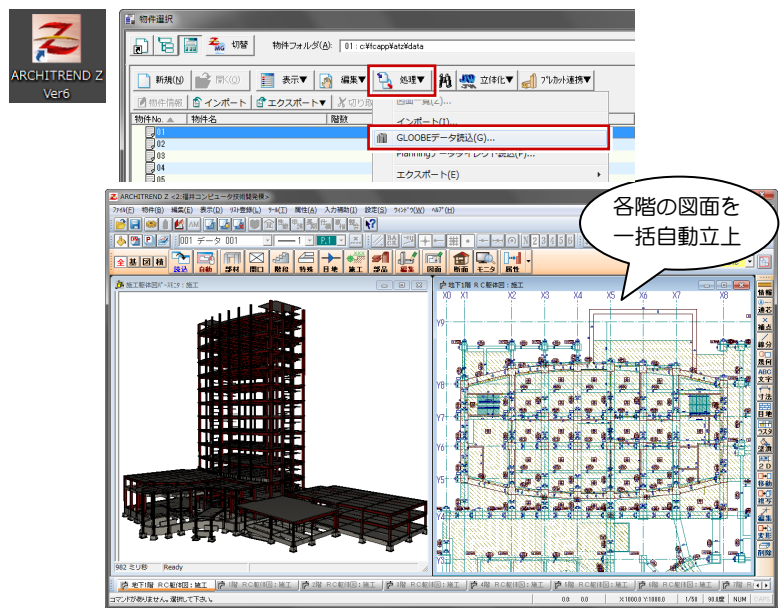
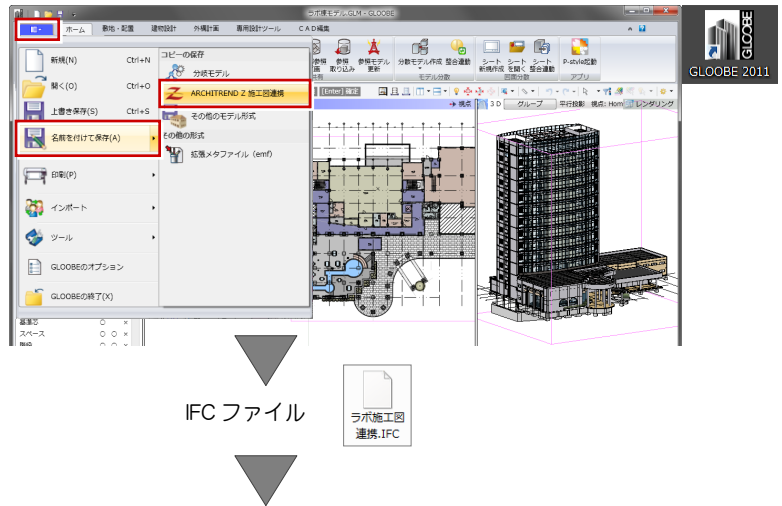
GLOBE ボタン	
ARCHITREND Z 施工図との連携に対応	3
建築設備 CAD、熱流体解析ソフトとの連携に対応	3
SketchUP ファイル出力の際に、オブジェクト種別でレイヤ分けするように対応	4
Windows 拡張メタファイル (emf ファイル) への出力に対応	4
IFC ファイル取り込みで、新規作成に加えて、現在開いているモデルデータへの取り込みにも対応	4
GLOBE のオプション	
GDI での印刷モード (旧式) を追加	5
表示設定	
線幅・線種・線色のユーザー設定に対応	5
初期値セットした値が新規プロジェクトで自動的に反映されるように対応	5
作図表現	
スタディモデルの面積計算・平面描画を、作図表現の描画レベルの高さで行うように対応	6
ハッチングパターンに「十字」「交互斜線」「円」「草」の4種類を追加	6
[建物設計] タブ	
建具・CW などの区画/絵柄の Color3D 設定で、本体プロパティの Color3D を参照できるように対応	6
階段のプロパティに [上階実線表示] [UP・DN 文字表示] の設定を追加	7
クリップ領域のある AM 照明部品 (埋込照明) の配置で天井が穴あけされるように対応	7
建具・CW などのプロパティにリンク情報を設定できるように対応	7
[専用設計ツール] タブ	
オブジェクトリスト、仕上仕様計画などのセル画面では太十字カーソルに変更	7
[CAD 編集] タブ	
PDF データを CAD データとして読み込む機能を新設 (オプション)	8
レンダリング	
添景の配置や、四季変化や手描き風イメージへの変換が簡単に行える「P-style」オプションを追加	8
3D ペイントレンダリングシステム「Piranesi」へのデータ出力に対応	9
「天空光 (外観)」「アンビエントオクリュージョン」によるレンダリングの品質を強化	9

シート	
平面詳細図、矩計図の図面生成時に、建具・CW などの寸法自動加筆に対応	9
平面図、配置図の作図表現で、戸・窓の掃き出し表現の設定に対応	9
作図表現の塗りつぶし設定で、オブジェクト種別毎に自由な設定ができるよう対応	10
建具寸法線で、建具の追い出し寸法も描画できるように対応	10
[全体 1/1] をアクティブにして入力した専用加筆データも図面の移動などに追従するように対応	10
連動前の用紙枠項目をグレー表示するように対応	10
その他	
常駐型 FC コンシェルジュで、ネット認証ライセンスやソフトウェアの自動更新などの管理を行うように対応	10

GLOOBE ボタン

ARCHITREND Z 施工図との連携

GLOOBE で入力された躯体を、IFC を経由することで ARCHITREND Z Ver.6 以降の躯体図で読み込み、躯体図の作成や積算が可能になりました。



他社ソフトウェアとの連携

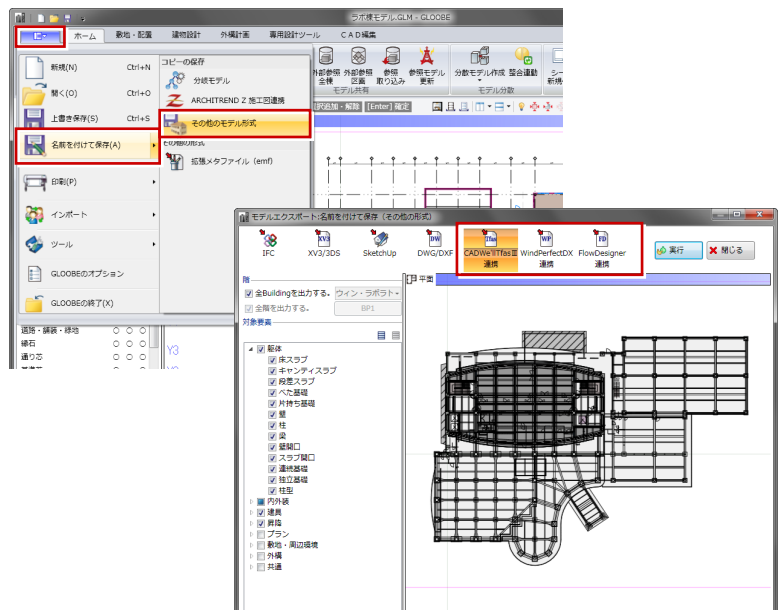
モデルのエクスポートで、次のソフトウェアとの連携に対応しました。

- CADWe'llTfas III (㈱ダイテック)

建築設備 CAD との連携に最適化された IFC ファイルを出力します。
- WindPerfectDX (㈱環境シミュレーション)

熱流体解析ソフトウェアとの連携に最適化された 3DDXF ファイルを出力します。
- FlowDesigner (㈱アドバンスドナレツジ研究所)

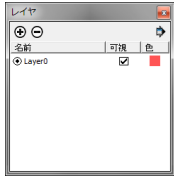
熱流体解析ソフトウェアとの連携に最適化された IFC ファイルを出力します。



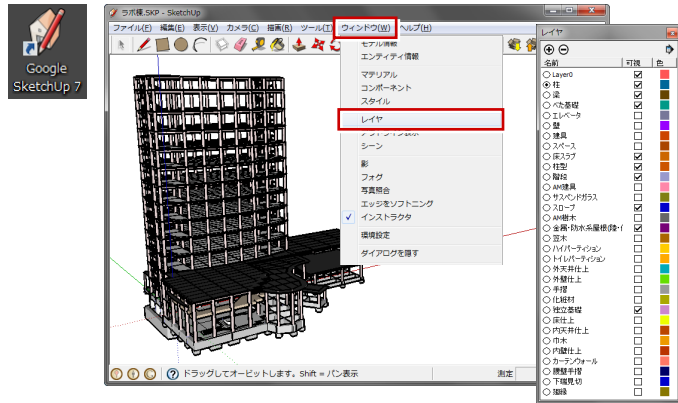
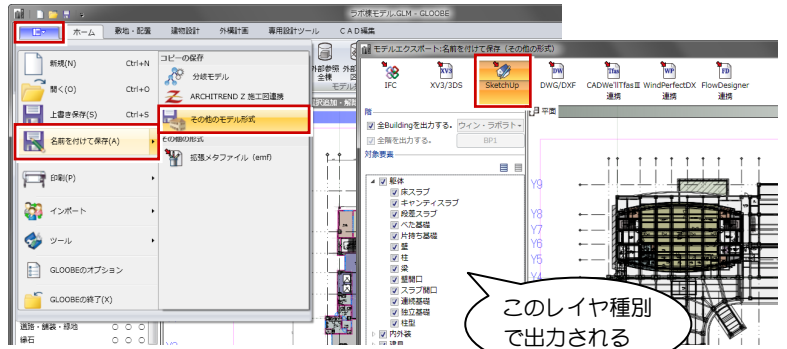
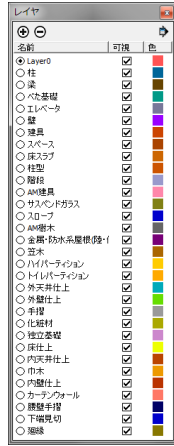
SketchUp 出力の強化

SketchUp ファイル出力の際に、オブジェクト種別でレイヤ分けするように対応しました。SketchUp でレイヤを切り替えて表示できるようになります。

【2011 以前での出力】

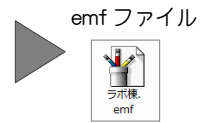
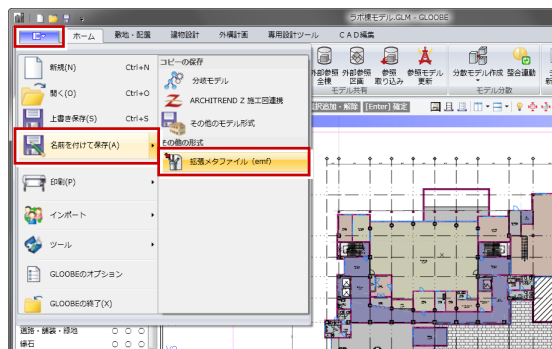


【2011 R1 での出力】



拡張メタファイル出力

Windows 拡張メタファイル (emf ファイル) への出力に対応しました。PowerPoint などに、縮尺を考慮した鮮明な画像として貼り付けすることができます。



IFC 取り込みの強化

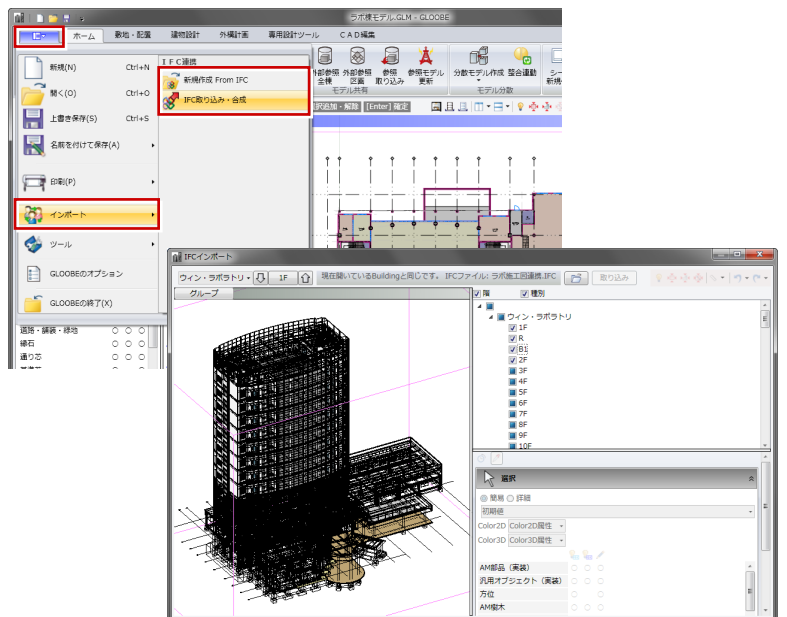
IFC ファイル取り込みのコマンドを 2 つに分け、現在開いているモデルデータへの IFC ファイル取り込みに対応しました。

■ 新規作成 from IFC

IFC ファイルを取り込み、モデルデータを新規作成します。

■ IFC 取り込み・合成

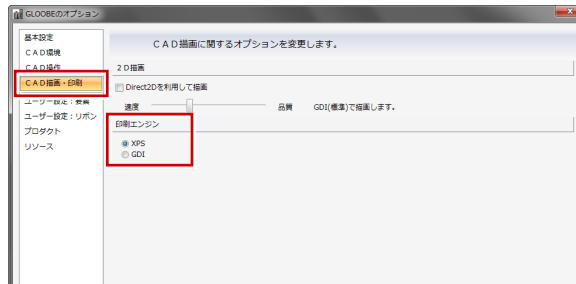
現在開いているモデルデータに IFC ファイルを取り込みます。GLOBE から IFC 出力後、他社 CAD で編集された IFC ファイルを元のモデルデータに取り込む場合、モデルデータと IFC モデルを比較して、入力変更されたデータだけを取り込むことができます。



GLOOBE のオプション

印刷エンジンの設定を追加

GDI (Microsoft 社の従来の印刷エンジン形式) での印刷モードを追加しました。XPS (Microsoft 社の新しい印刷エンジン形式) でうまく出力されない場合は、ドライバの更新や GDI での出力をお試しください。

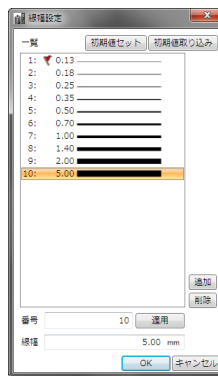


表示設定

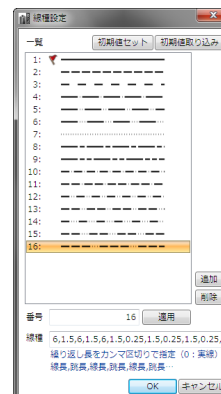
線幅・線種・線色のユーザー設定

線幅・線種・線色をユーザー任意に追加設定できるようになりました。点線や一点鎖線の幅と空白の長さを設定したり、任意の線幅や色を設定することができ、思い通りの図面表現が可能です。

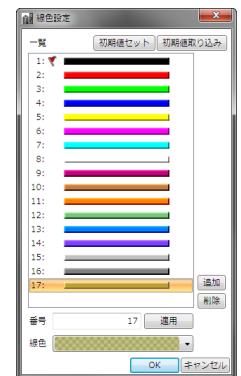
- ※ 線幅の No.1~9、線種の No.1~15、線色の No.1~16 の設定については変更・削除ができません。
- ※ 文字や線などを入力する際にコマンドサポートウィンドウに表示される [線幅] [線種] [線色] をクリックしたときにも、同様のダイアログが表示されます。



【線幅設定】



【線種設定】



【線色設定】

初期値セットの強化

レイヤ設定、線幅設定、線種設定、線色設定、および作図表現の [初期値セット] を実行後は、新規プロジェクト作成時、設定した初期値が自動的にセットされるようになりました。



【レイヤ設定】

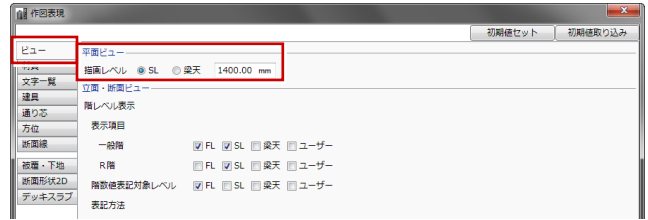


【作図表現】

作図表現

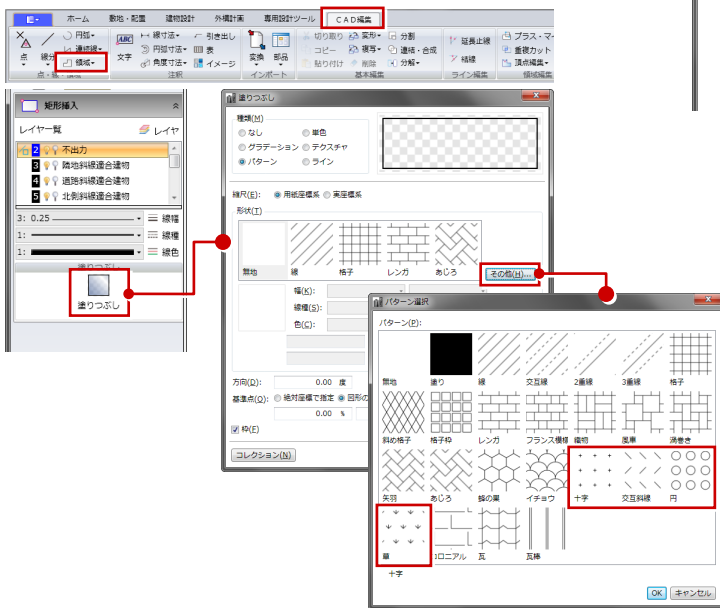
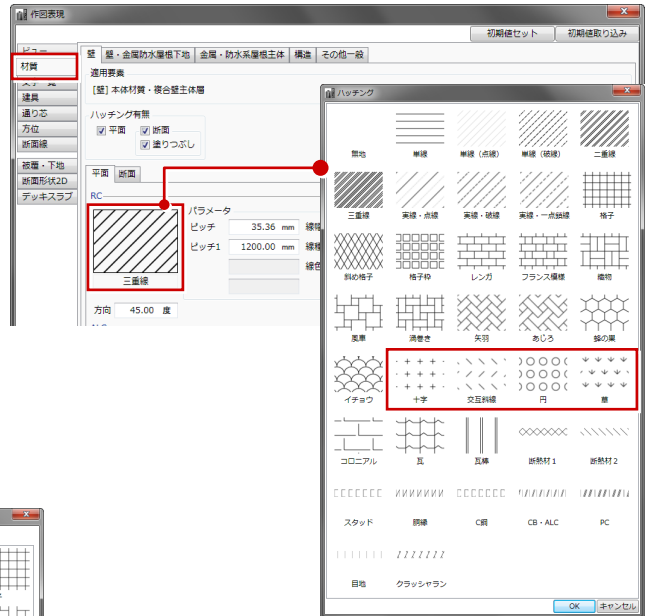
スタディモデルの描画レベル対応

スタディモデルの面積計算・平面描画を、作図表現の [描画レベル] の高さで行うように変更しました。



ハッチングパターンの追加

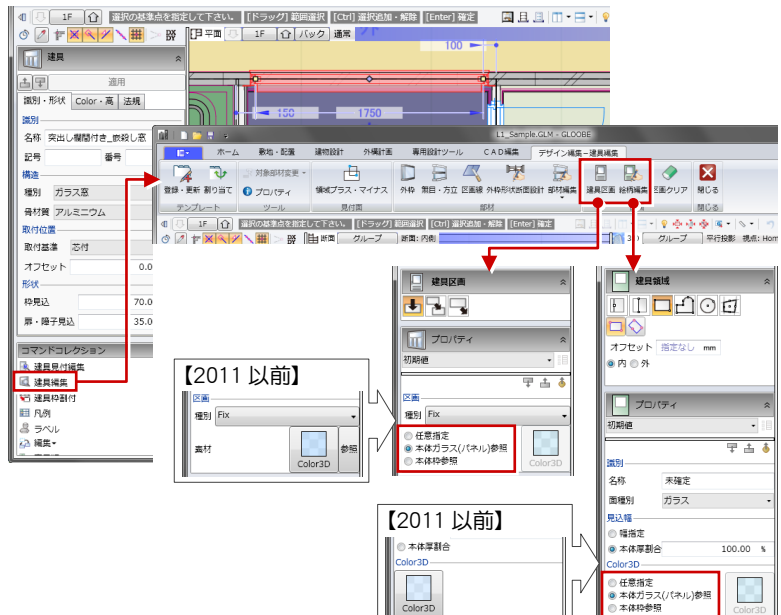
ハッチングパターンに「十字」「交互斜線」「円」「草」の4種類を追加しました。塗りつぶしのハッチングパターンも同様です。



【建物設計】 タブ

区画/絵柄の Color3D 本体参照

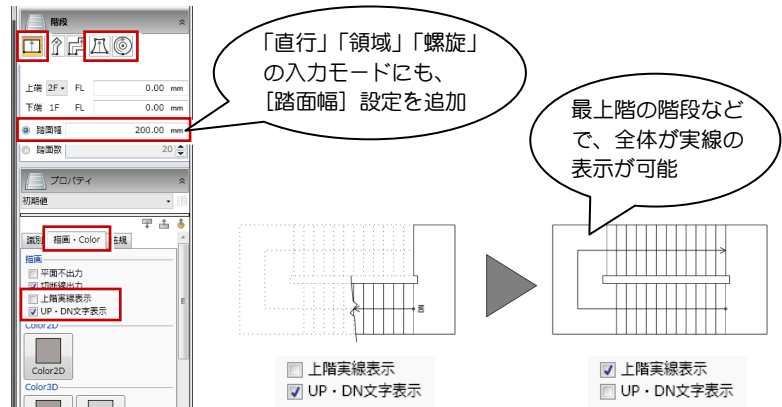
建具、カーテンウォール、パーティション、ガラス屋根の区画/絵柄の Color3D 設定で、本体プロパティの Color3D を参照できるようになりました。例えば「本体参照」に設定していた場合、建具本体のプロパティで枠の色を変えると、障子枠の色も変わるので、建具編集画面を開いて変更する手間が省けます。



階段の拡張

入力モード「直行」「領域」「螺旋」の場合にも、踏面幅を指定して入力するか段数を指定して入力するかを選べるようになりました。

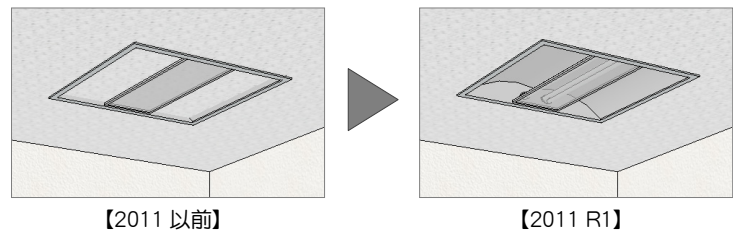
また、階段のプロパティに「上階実線表示」【UP・DN文字表示】の設定を追加しました。



埋込照明の天井クリップ

AM 部品（天井）の埋込照明を配置すると、天井がクリップ（穴あけ）されるようになりました。よりリアルな表現が可能です。

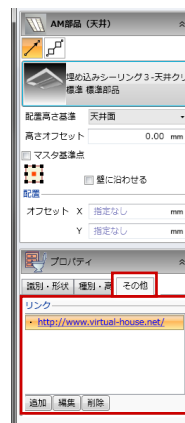
※対応している部品は、品名に「天井クリップ」と表記されています。



プロパティに URL 項目追加

建具、AM 建具、カーテンウォール、サスペンドガラス、パーティション、天井仕上、壁仕上、床仕上、AM 部品のプロパティにリンク情報を設定できるようになりました。

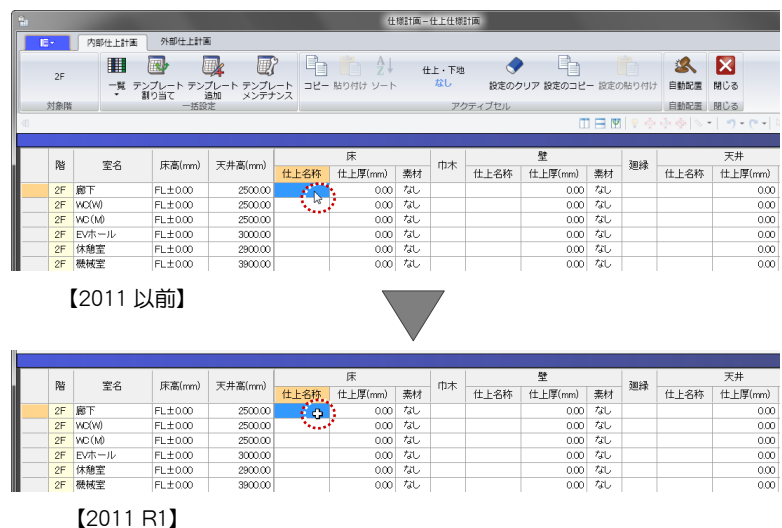
製品の URL を登録しておくことで、詳細情報を確認できます。



【専用設計ツール】 タブ

セルカーソルの改良

オブジェクトリスト、仕上仕様計画などのセル画面では、Excel に合わせて矢印カーソルから太十字カーソルに変更しました。

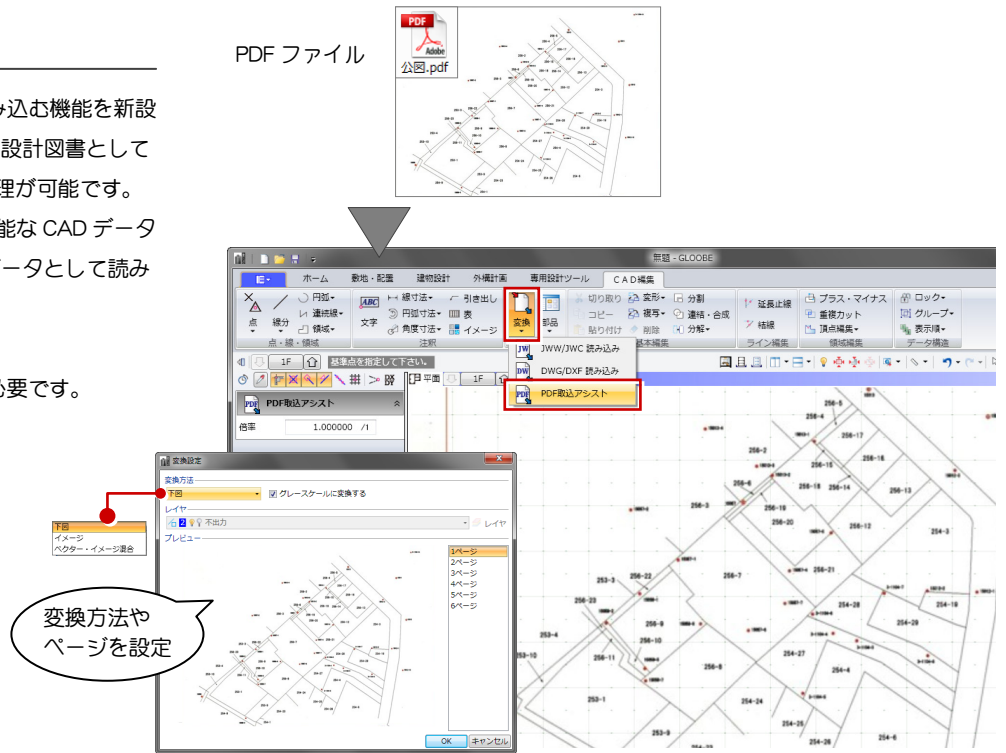


[CAD 編集] タブ

PDF データの取込

PDF データを CAD データとして読み込む機能を新設しました。読み込んだ PDF データを設計図書として編集・加工することができ、一括管理が可能です。なお、ベクトル形式の PDF は編集可能な CAD データとして、ラスター形式の PDF は画像データとして読み込みます。

※ PDF 取込アシストオプションが必要です。



レンダリング

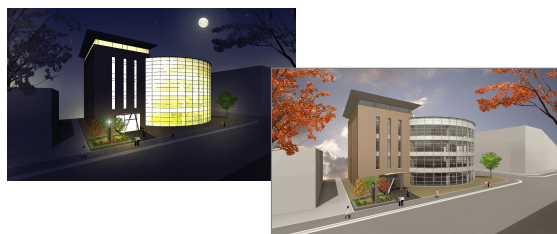
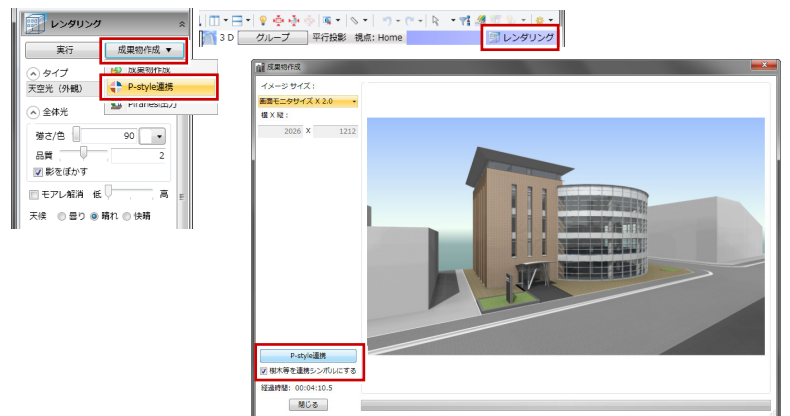
P-style 連携

P-style に連携し、樹木や人物などの添景を配置したり、四季変化や夜景・夕景などへのシーン変更、手描き風イメージへの変換などが簡単に行えるようになりました。多様なプレゼンパースの作成が可能です。

※ P-style はオプションプログラムです。

※ P-style の操作方法については、[ヘルプ] メニューの [ヘルプを開く] で表示される手順書を参照してください。

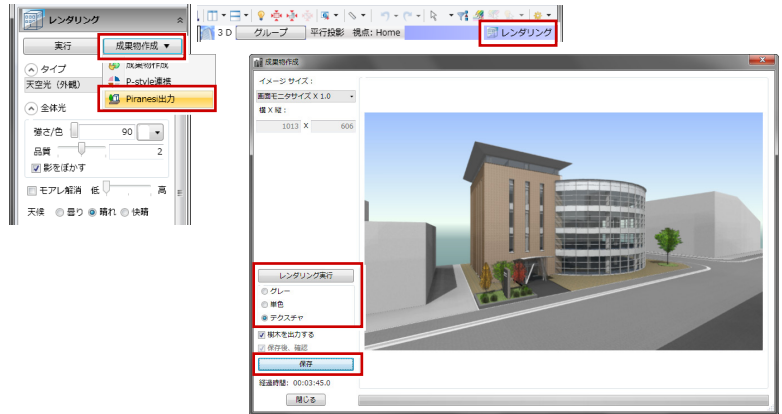
※ P-style のデータは、GLOOBE の [ホーム] タブの [P-style 起動] コマンドから開いて編集できます。



Piranesi 出力

㈱インフォマティクスの3Dペイントレンダリングシステム「Piranesi」で読み込み可能なファイルへの出力に対応しました。Piranesiによるグラフィック加工が可能になります。

※ Piranesi 出力は、「プレビュー」または「天空光 (外観)」の場合に実行可能です。



レンダリングの品質を強化

「天空光 (外観)」 「アンビエントオクリュージョン」によるレンダリングの品質を強化しました。更にフォトリアリスティックなレンダリング成果が得られます。

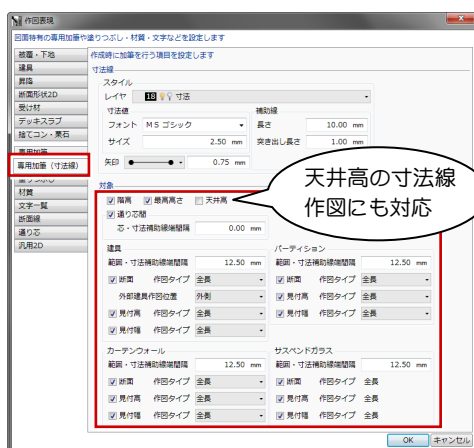
シート

平面詳細図/矩計図の寸法自動加筆

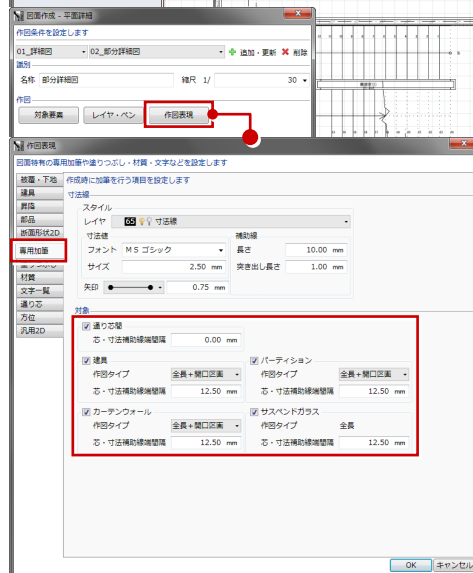
平面詳細図、矩計図の作図表現に寸法線の設定を追加し、図面生成と同時に建具、カーテンウォール、パーティション、サスペンドガラスの寸法が自動加筆されるようになりました。矩計図ではスペースの天井高の寸法線描画にも対応しています。

また、通り芯間の寸法では、通り芯間距離とともに両端の合計距離も作図されるようになりました。

加筆修正の手間が省けます。



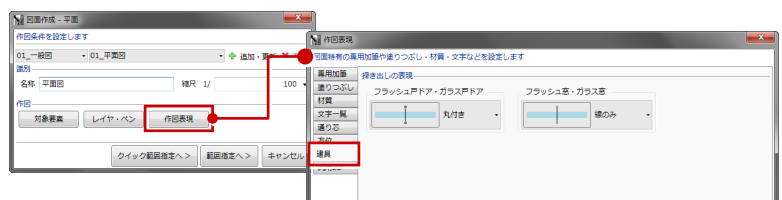
【矩計図の寸法作図条件】



【平面詳細図の寸法作図条件】

平面図/配置図の作図表現を拡張

平面図、配置図の作図表現に「建具」タブを追加し、戸・窓の掃き出しの表現を選択できるようになりました。



作図表現の塗りつぶし設定を拡張

作図表現の塗りつぶし設定で、Color2D 属性を使用するか、色・ハッチングを使用するかをオブジェクト種別ごとに設定できるようになりました。塗りつぶしのバリエーションが広がります。

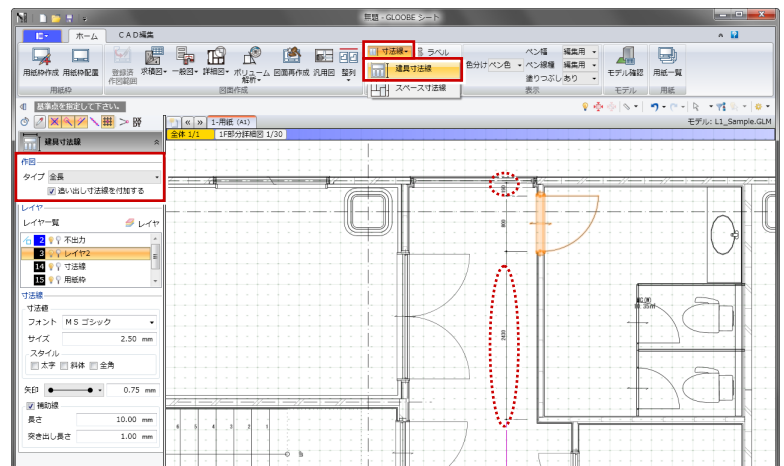


建具寸法線に追い出し寸法を追加

[建具寸法線] コマンドで、建具の追い出し寸法も同時に作図できるようになりました。

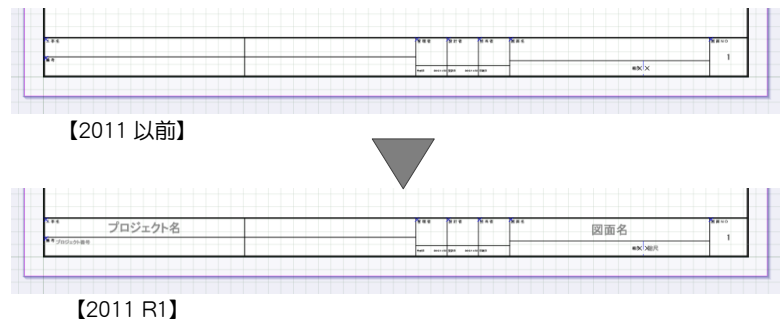
専用加筆データの移動

[全体 1/1] をアクティブにして入力した専用加筆データも、図面の移動などに追従するようになりました。



連動前の用紙枠項目を表示

未登録の用紙枠項目をグレーで表示するようになりました（印刷はされません）。用紙枠に何の項目が連動してくるか、わかりやすくなります。



その他

FC コンシェルジュの機能拡張

ネット認証ライセンスの管理やソフトウェアの自動更新など、既存 FC コンシェルジュのサービスが拡張し統合されました。タスクバーに常駐し、ソフトウェア管理や操作サポート情報のお知らせ表示などを行います。

※ FC コンシェルジュをご利用いただくには、はじめにユーザー登録を行う必要があります。

